

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)守口市文園町計画新築工事	階数	地上2F
建設地	大阪府守口市文園町	構造	S造
用途地域	第2種住居地域 分防火地域	平均居住人員	60人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,550 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年5月 予定	評価の実施日	2021年7月30日
敷地面積	4,152 m ²	作成者	近藤 康明
建築面積	2,612 m ²	確認日	2021年7月30日
延床面積	4,501 m ²	確認者	近藤 康明

本表を右クリックし、「図の複製」を選択していただくことで、外観図等を貼り付けることができます。

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%☆☆☆☆ 60%☆☆☆☆ 80%☆☆☆☆ 100%☆☆ 100%超:☆☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.6

Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.8

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.6

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
利用者に快適に安全に利用していただく。	特になし。	
Q1 室内環境 利用者に不快感を感じさせない。	Q2 サービス性能 安全に利用できるように配慮。	Q3 室外環境(敷地内) 植栽可能な部分には、植栽を設けるように配慮。
LR1 エネルギー 省エネルギーの機器等を使用するように努める。	LR2 資源・マテリアル 特になし。	LR3 敷地外環境 騒音・臭気等、周辺にできるだけでないように配慮。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R3-0039

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	(仮称)守口市文園町計画 新築工事					
		建設地	大阪府守口市文園町					
		用途/区分	物販店 工場					
【評価結果】		CASBEE 総合評価					B-	
①	CO2削減					4		
②	みどり・ヒート アイランド対策					2		
③	建物の断熱性					2		
④	エネルギー削減					5		
⑤	自然エネルギー直接利用					—		
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
		エネルギー消費量の報告						
【評価項目】								
項目		評価内容				スコア	評価	
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				4.0	4	
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	2	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				2.0		
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				1.6	2	
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				4.7	5	
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—	
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
先進的技術の導入								
特に配慮した事項								